

RETENTION PLUS

Retention Plus (リテンション・プラス) は、四つのR (リテンション、リクラメーション、リバイバルとリフォーメーション) に関する記事やニュースを通して支部内の各教会のために、リテンション・プロジェクト・コーディネーターや牧師たちを力づけることを目指しています。間近なイエスの再臨に対して教会員を備えをさせ、具体的な行動へかきたてるよう、読者を目覚めさせ励ますことを願っています。

Retention & Reclamation Committee Members

Chairman

Jairyong Lee

Secretary

Fukui Teru

Members

Barbara Choi
David Ripley
Lynn Ripley
Kwon Johnghaeng
Joo MinHo
Han SukHee
Kim SiYoung

Main Editor

Fukui Teru

Assistants

Oh MyoungSook
Kim MinkYung



Northern Asia-Pacific Division
of General Conference

P. O. Box 43. Goyang IIsan,
410-600, Republic of Korea
Tel: 82-31-910-1500
Fax: 82-31-919-4412
Email: tfkui@nsdadventist.org

会員制ですか、弟子制ですか？

牧会の働きを始めたとき、教区には牧会の成功に関して一枚のページだけしかありませんでした。教会員はどれだけ増えましたか？教会名簿に、どれだけ新しい名前が追加されましたか？

数年後のこと、大勢の新しい名前が教区全体の教会名簿に追加されているけど、教会の実際の出席は増加していないじゃないかという議論が起きました。議論によると、牧師たちは人びとを励ましてバプテスマを受けるようには時間を使うけど、終わったら新しい人に移るのです。つまり、牧師は人びとを教会に結び付けられないので、信徒の定着が問題でした。牧師たちが問題だったのです。

教会員の数を強調しないで、教区は礼拝の出席を大切にしようと、決められました。これで、きっと定着率は改善するだろうと思われました。教区は牧師の働きをこのように判断するのだから、牧師たちは教会員が礼拝に来れるように、出来る事は何でもするようになるだろうから。

さて、確かに礼拝の出席率は教区全体で増えましたが、まもなく明らかになったのは、バプテスマの数が低下していたのです。出席率を強調したので、牧師たちはバプテスマに導く時間とエネルギーが少なくなったのです。

このような二つの方法は、教会と牧会の働きの健康を示す良い指標ですが、大きな限界も持っています。問題は、牧師の評価をするこれらの方法は両方とも、教会に繋がっていないか、ゆるくしか繋がっていない、教会の使命に自分を捧げていない教会員になってしまう傾向があるとう事です。

教会の健康と牧会のより優れた評価は、どれだけ多くの弟子が、各教会にいるかという事でしょう。マタイ28章で、イエスは「行って弟子としなさい」と命じられました。どこにも、イエスは会員を作りなさいとか、出席者を作りなさいと命じておられません。キリストにあって成長する重要性から、各教会の会員や出席を記録している必要はありますが、牧師やその教会の大きな仕事は、弟子を作る事です。これこそ、宣教第一 (Mission First) なのです！

それでは、あなたの教会が皆会員／出席者であるのか実際の弟子であるのか、どうしたら分かるのでしょうか。会員制の教会と弟子制の教会の「辞書」的な意味を、差し上げたいと存じます。

会員制モデル

会員が教会の中心であって、その存在の主要な理由です。文化、プログラム、礼拝、交わり、スチュワードシップ、設備、場所、その他は教会員を維持し、育てるためにあります。全体的に言えば、教会はうまくいけば、十分に注油された機械です。

弟子制モデル

神とその使命が教会の中心であって、その存在の主要な理由です。文化、プログラム、礼拝、交わり、スチュワードシップ、設備、場所、その他は教会員を周囲の文化へ送り出し、弟子とするためにあります。全体的に言えば、教会は生きた有機体です。

これら二つの違いを幾つか例示したいと存じます。

1. 会員モデルでは、教会員が教会存在の主要な理由で、弟子モデルでは神とその使命が理由です。
2. 会員モデルでは、すべてのエネルギー、プログラム、そして財源も教会員を利するためにありますが、弟子モデルではそれらすべては、活動する弟子を支え、神のためのその使命を支えるためにあります。
3. 会員モデルでは、教会は教会員を快適にするため活動的に動く機械のようです。一方、弟子モデルでは教会は、頭であられるキリストと福音を伝えるために働く、生きた有機体です。

ですから、教会員の定着に対する答えは、牧師や教会員が自分たち自身をどのように見ているかにあります。

教会員は、牧師は皆の僕であって、皆を快適にし、彼らの願いをかえ、その働きの90%を教会のためまた地域のために行うのだと思っっているでしょうか。彼らは、毎週教会の集まりに出席し、什一と献金を捧げていけば、良い教会員だと見ているのでしょうか。

それとも、自分たちは、牧師と一つの伝道チームであり、教会の弟子たちを訓練し支え、霊的に成長するように助け、彼らが宣教第一とするのに成功するように、必要なことを行うと考えているのでしょうか。

教会でグループディスカッションをするための考察用の質問：

1. あなたの教会は、概して会員制でしょうか、弟子制でしょうか。
2. もし、会員制であれば、弟子制の文化に移行するために助けとなる提案は何かありますか。
3. もし、弟子制であれば、この文化をどのようにすると強めることができるでしょうか。

デイビッド・リプリー
牧師会会長
北アジア太平洋支部





ヨンウォル教会の報告 (東中央韓国教区)

寧越(ヨンウォル)教会は、大韓民国江原(ガンウォン)道、寧越にある小さな教会で、58年の歴史があり、50人以下の教会員しかいません。教会の出席者は、火曜日の祈祷会と金曜日の夜の集会は10人くらい、安息日学校は20人くらいでした。牧師として赴任してきた時には、教会を霊的にリバイバルさせることだけでなく、新しく教会堂を建て替える大きな必要もありました。まず第一に、教会のリバイバル委員会の会議でそれぞれの個人のビジョンと、小グループや教会全体のビジョンを分かち合いながら、私たちは教会としてどの辺にいるのかを理解しようとしました。

会議を通して、次のような教会成長を阻む障害の一覧表がまとめられました。

1. 教会員が新しい信徒を教会に連れてきたら、その信徒の魂を育てるのは、牧師だけの責任である。
2. 教会の目的や、新しい信徒の定着の目的が理解されていない。
3. セブンスデー・アドベンチストの教会員である自信と自己確認が不足している。
4. 新しい信徒を育てる、訓練されたリーダーがほとんどいない。
5. 新しい信徒を教会に根付くのをくじかせる、古くさびれた教会の建物。

ヨンウォル教会は、これらの諸問題に打ち勝つべく、新しいチャレンジに乗り出しました。

1. 教会員を、信徒伝道の召命に、目覚めさせる。
2. 新しい信徒と失われた魂を、定着させ呼び戻すための、特別の訓練と家庭訪問の計画を数週間にあわたって設定する。
3. 新しい会堂の建設

明確な目標を頭に入れて、ヨンウォル教会は会堂建築を、2013年5月に始め、2014年12月21日に完成しま

した。総費用は5億8千万ウォンで、借金はゼロでした。神の恵みの下、それは新しい教会の歴史の始まりでした。

新しい教会員の定着のための作戦は、以下の通りです。

1. 神のみ言葉に基づいて、定期的な小さなグループの集会を強化する：
 - 1) 特別早朝祈祷会(現在まで38回)
 - 2) 月曜SDA基本教理特別勉強会(6週、8週、8週の3回)
 - 3) 月曜弟子訓練クラスによる、新しい教会員と失われた教会員(長期欠席者)の定期的家庭訪問
 - 4) 定期的執事と女性執事の集会和、教会リバイバル委員会(毎月第4水曜)
 - 5) 定期長老会議(毎月第3水曜)
 - 6) 男性奉仕グループによる、未信徒のご主人のための伝道旅行
 - 7) 教会員を信徒から伝道者に変える弟子訓練講座(毎安息日、午後2~4時)
2. アドベンチストとしての自信を育てる：
 - 1) 毎週火曜日、特別黙示録セミナー(八ヶ月間)
 - 2) 毎週月曜日、28基礎教理を通して、SDAの歴史と目的を学ぶ
 - 3) 3天使の使命を含めた教会案内のチラシ作成
 - 4) 地域のタクシー運転手や、町のアパートに1万毎のチラシを配る、種まき運動。

その結果、

- a) チラシを通して、SDAのことを知らなかったクリーニング店の女性がキリストを、受け入れた。
- b) メソジストの教会員が毎週火曜日の特別黙示録



セミナーに8ヶ月間参加し、2015年3月受浸し、熱心な教会員となる。

3. 教会が存在する理由は、地域伝道と奉仕のためである。

そのため、早朝祈祷会の後、ヨンウォル教会では教会員は、近隣の雪かき、ゴミ集め、キムチ作りなど、種々のボランティア地域活動に参加し、地域との連携を強化した。

その結果、新しい信徒とのボランティア活動が人々に奉仕する特別の機会と経験となり、サウナにも一緒に入った。これらすべてが、自然と教会員同士の近い関係を作ることになり、新しい教会員が教会に定着するのを助けた。

4. ヨンウォル教会は、「イエスを讃える場所」という名前の、特別伝道チームを始めた。

ヨンウォル教会のモットーは：「一人が一人の魂を救う」である。

「イエスを讃える場所」チームの伝道使命は、一人の信徒が一人の魂（新しい人でも、教会から離れた人でもかまわない）をキリストへ導くために、7カ月に渡ってその人のために祈り、小グループや、家庭訪問、その他の活動によって働きかける。この伝道チームの活動は一度で終わらない。新しい会員が、彼らの間でクリスチャンとなり、クリスチャンの性格を形造ることが絶対に必要である。

結果的に、このことは新しい協会員ばかりでなく、一般の教会員にとっても霊的な成長という意味で、祝福なり得るものであった。可能性のある候補者は、教会へ案内され、SDAを理解するため7カ月に渡って28カ条の基礎教理を学び、そしてバプテスマと続く。結果は、下の表にあるように、神の素晴らしい恵みによ

り教会の定着率（retention rate）は90%に達しました。

Year	Bap.	Attend.	Ret. Rate
2010	2	27	0%
2011	0	28	0%
2012	1	28	25%
2013	3	42	90%
2014	5	61	90%
2015	7	77	

教会を築き上げる過程で、今に至るまで、多くの困難や失敗もありましたが、私たちに与えられた主の恵みを決して忘れることはできません。主を完全に信頼するとき、主はすべてを成してくださると悟るので、ですから、今日、神が私たちの教会を助けてくださるよう、再び膝まづいて祈るのです。主がご自分のみ手で、すべてを成してくださると信じます。今日、主を誉め讃えて叫びます、「主が成してくださった！」

「主に信頼し善を行え。」（詩篇37:3）



ユン□ホヨン牧師



信徒を教育し整えることによって 弟子を作る(2/3)

教育の目的

(前号からの続き：教育不足により、多くの信徒は教会を去り、信仰から離れてしまった。牧師たちは、教育についてのイエスの教えに(マタ28:19)多くの注意を払わねばならない。新しい信徒を教会に定着させる、つまり教会の後ろの扉を閉じる第一歩は、教育である。)

教育は、教会員の定着のためばかりでなく、弟子づくりのためでもあります。使徒パウロは、「聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げる」(エペソ4:12、新改訳)ように教師としての牧師の責任を述べています。この聖句によれば、信徒を訓練し教える目的は、彼らを神の働きビトにすることです。大宣教命令によれば、教育の理由は弟子づくりです(マタ28:19)。これら二つの聖句によれば、つまるところ、神の働き人であることは弟子となることであり、神の働き人の業は弟子を作ることです。新しい信徒は、個人的な祈りと聖書の学びを通して、神と規則的にどう交わるかを、また小グループの集まりなどを通して教会の活動にどう関わり、弟子と作るために地域での奉仕の仕方、教えられなければなりません。ついには、全ての信徒は神の働き人となり、たゆまず弟子を作るため活動するのです。ホワイトは言っています、「牧師側が教会の教会員に与えることのできる最高の助けは、説教することではなく、彼らの働きの計画を立てて上げることです。一人ひとりに、何か他の人のためにできることを与えなさい。皆んなが、キリストの恵みを受けているものとして、彼のために働く義務があることが分かるように助けなさい。さらにどう働いたら良いか、すべての人を教えなさい。特に、新しく信仰を受け入れた人たちは、神と共なる共労者となるよう教えて下さい。」教育の最終的目的は、弟子を作る人を産み出すことです。

紅海を渡った後、イスラエルの民はシナイ山にきました。そこで、神はイスラエル人に律法

を教えられました。神は、ご自分の民が教えられることに従うことによって、祭司の国になること(出エジプト19:5,6)を望まれたのです。パウロは、祭司の務めは異邦人に神の福音を伝える(ロマ15:16)ことであると言います。そのために、神はその民を、三つの大陸が出会う、古代世界の十字路、パレスチナへと導かれました。イスラエルが祭司の働きをする働きをし損ねた時、神はイスラエルが持っていた同じ使命に基づいて、新約の教会を起こされました。神は、新約の教会が王の系統を引く祭司(第一ペトロ2:9)となることを望まれました。神がご自分の民を王の祭司になさろうとする理由は、暗闇から驚くべき光へ導き出された、神の力あるわざを広く伝えるためである(同上)と、聖書は述べています。つまり、王の祭司たちの主たる働きは、神のよき知らせを伝えることなのです。イエスの福音を伝える最善の方法は、弟子を作ることです。王の祭司であるためには、教会は決して、教会員も新しい信徒も教育することを怠らないのです。教会員を弟子訓練を受けるよう励ます時、彼らは神が望まれる王の祭司となるでしょう。

一言で言えば、教会は新しい教会員に神の働き人、また王の祭司となるよう教えるべきです。神の働き人のわざと、王の祭司には共通のものがああります。弟子づくりです。

誰を教えるべきか？

すべての新しい信徒は、弟子訓練を受け、その結果として、弟子を作る人になるべきです。しかし、教会での弟子訓練の初めの段階においては、何人かの信徒を選ぶべきです。イエスが、群衆への奉仕のため協力するよう12弟子をお選びになったように、牧師は他の人に働きかけるため何人かを選び、弟子を作る協力者とすべきです。

誰を選ぶべきでしょうか。ある山で、夜通し熱心に祈られた後、イエスは12弟子を選びました(ルカ6:12参照)。「イエスが学歴のな

い漁師たちを選ばれたのは、彼らはその時代の伝統や、誤謬の習慣に満ちた学校経験がなかったからであった。彼らは元々の能力の備わった人々であり、謙遜で教えやすい性質を持ち、ご自分の働きを教育することのできる人々であった。」イエスは、謙遜で教えやすい人々を選ばれました。もし、教育されれば、将来霊的な指導者となる能力を、イエスは見られたのでした。12弟子の性質について語りながら、コールマンは述べています。「おそらく彼らについて最も重要なことは、神と自らの命の現実を真剣に飢え渴くように求めていたことであった。」学歴はなくとも、忠実で教えやすければ、最初の弟子訓練に選ぶことができます。学ぼうと飢え渴いていることを見過ごしてはなりません。

イエスは、12弟子という少ない人数の人々を選ばれました。公生涯の間、イエスは主にご自分の時間と努力を、群衆のためよりは、むしろ12人の小グループに注がれたのです。なぜ、イエスにご自分の弟子として少ない人々を選ばれたのでしょうか。第一に、イエスは、十分に訓練された少人数のグループの人が、ご自分の昇天の後でも、どこへでも出て行って福音を述べ伝え、群衆を神へ導くことを望まれました。コールマンは次のように述べて、この考えを支持しています。「ばら

ばらでうろたえた人々からなる群衆は、おそらくは従おうという用意はできていたが、個人的に彼らが必要とする助けをお与えになることができなかった。彼の唯一の希望は、指導者にご自分の生涯によって靈感を与え、ご自分の代わりに働くようになることであった。第二に、お互いの交わりを通して時間を共に過ごしながら、弟子たちと一緒に居たかったのです（マルコ3:14）。この原則について、レロイ・エイムズは述べています。「それが、なぜあまりたくさんの人を一度に受け入れられない一つの理由です。」ですから、イエスは少人数の人々を選ばれました。その原則は、弟子づくりの主の使命を成功裏に達成するために、教会の弟子選びに適用せねばなりません。全教会員を訓練に集めるよりは、教会は少人数の人を弟子訓練に選ぶべきです。「そのように献身した数人の人々が、時が経てば神のために世界を揺るがすのです。」教会は、数人の人から弟子訓練を始める必要があります。（次号に続く）

NSD、支部総理補佐
リーダーシップ開発
ジャー・ミンホー博士



編集後記：

“会員制”の教会（Membership Church）と“弟子制”の教会のちがいに気づくとはなんという洞察でしょうか。丁寧に、リプリー先生の記事をお読みになってください。ジュウ先生の記事は、各地の教会レベルでの弟子訓練・弟子作りという意味で、イエス様の大宣教命令をどう理解すべきかを説明された、優れた解説です。全ての牧師たちは、十分に時間をとって重要なリテンションのテーマのこれらの記事を読んていただきたいと存じます。

特集は、韓国のヨンウォル教会でお働きの、ユン・ホヨン先生のレポートです。興奮するような、報告を私たちに下さっています。皆さんも、同じ精神で行けば、同じようなことを達成できるでしょうか。神様の大きいなる祝福がありますように。（福井）